

「希望」だより

〒284-0005

四街道市四街道 1-6-11 田中ビル 3F

TEL & FAX 043-421-6645

E-mail : kibou_donguri@ninus.ocn.ne.jp

HP : <http://kibou-donguri.org>

令和 5 年度 通常総会終了



入口の看板は、だんらん入居者の F・N さんに書いていただきました！！

特定非営利活動法人 希望 令和5年度 通常総会 終了

6 月 24 日 (土) 四街道市総合福祉センターに於いて、令和 5 年度「希望」通常総会を開催いたしました。

事業報告では、地域活動支援センターどんぐり工房の利用者が、どんぐり工房を「卒業」して、就労等ステップアップすることは大変喜ばしいことですが、一方で運営面においては利用者が減ってしまうため、厳しい状況となることなど報告させていただきました。

情報発信をして利用者増を目指し、今年度も、どんぐり工房・グループホームだんらんともに利用者・入居者の皆さんにとって、より一層、安心して過ごせる場所になるよう、職員一同、力を合わせて取り組んでまいります。

どうぞよろしくお願いいたします。

四街道市『核兵器廃絶平和都市宣言』採択 40 周年

ピース・サークル

音楽を交えて平和を呼びかけるつどい

第 1 部 音楽コーナー 弾き語り・ダンス他

第 2 部 シンポジウム「どうなる平和、どうする平和」

シンポジスト 『四街道市核兵器廃絶平和都市宣言』

“平和と文化のつどい”

実行委員長 江口勝善さん

同事務局長 小澤芳雄さん

と き 2023 年 7 月 30 日 (日)

13 : 30 ~ 16 : 30 (受付 13 : 00 ~)

ところ 四街道市南部総合福祉センター

「わろうべの里」1 階 ホール

入 場 無料 要予約

主 催 Tea for two

問合せ・申し込み 伊佐 勉

043-424-5351 080-1074-3126

osamu1956sumio0220@docomo.ne.jp

※「希望」はこの企画を後援しております。

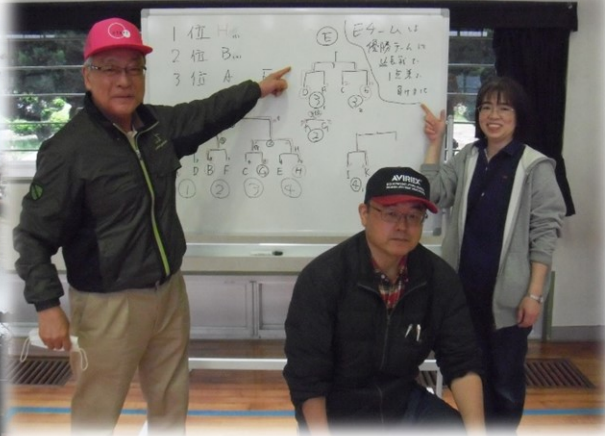
地域活動支援センターどんぐり工房

お花見🌸



桜の花、綺麗でした。

ポッチャ大会



ポッチャ大会は、惜しくも優勝チームに1点差で負けてしまいました。



手作りのこいのぼり、七夕飾り、ぬり絵、とても素敵に仕上がりました。

心のふれあい フェスティバル



心のふれあいフェスティバル、大きなテーブルに出店しました。販売当日は多くの来場者の皆様とふれあう良い機会となりました。どんぐり工房の製品・商品をお買い上げいただき、販売に向けて製作・製造にかかわったメンバーさんの、大きな励みとなりました。ありがとうございました。

大きなテーブル



研修

福祉・介護の就労定着
支援セミナー
新任職員応援プログラム受講

5月19日に千葉県社会福祉協議会千葉県人材センター主催。希望の職員2名が受け、福祉従事者としての話し方等のポイントなどを学びました。
今後、皆さんの対話等に役立たせていきたいと思っています。

路上で母は五拾円玉を遮った。放っておけば私の五拾円になるはずの金が目の前から遠ざかった。何事かあるたびに母親は私から金を取り上げた。当然私は毎日五円玉を有難く頂戴していた、貯えなど何もない、まったくのその日暮らしであった。

「五拾円だよ、今時子供でもこのくらいのお金は持っているものだよ」

「どれだけ苦労して得た金だい、一円たりとも無駄にしてはいけないものだ、子供は使うことしか知らないからね、働いて得た金でもないのに大事にすると思うかい」

「駄目かね」

愚痴るように語るKさんの呟きは私の内心を語るようだった。面倒は困るが金は欲しい。

不図思い出したように私はグリコのキャラメルを見た、おまけと称する箱を開けた。

「これは何かね、なんでできているんだい」

「プラスチックだよ、最近の流行りだね」

「へえ」

私は感嘆した、一個五円のキャラメルのおまけである、たいしたものが入っているわけではない、それでも夢を見るように玩具を手にとった。

「玩具なら木原さんの家にたくさんあるんじゃないのかい、私の家にも貰ったものがいくつかあるけれど」

私の後ろで着物の生地がバタバタなるので振り返ってみた。親は慌てて手を横に振り口元に人差し指を立てていた。

「なんだい、母ちゃん」

慌てる母親を不思議に見た。

「どうしたんかね」

「家に帰ればいくつもあるだろう、木原さんちの父親が玩具の会社に勤めているだろう、毎年お盆と年の暮れに大きな箱に詰め込んで送ってくるじゃないか、なんと言ったつけ、ブリキで出来た玩具だよ、子供にとっては高級な遊び道具だろうね」

Kさんは不思議なものを見るように母親を見た、まだしても手をバタバタさせていたからである。私は親を眺めた。

「どういうことかね」

親は舌打ちした。

「お前はまだ子供だらう、高級な代物を大事にできないだろうし、持っけていてもすぐに壊してしまっくんじやないかい、それにまだもったいないよ」

「何処に持っていくのかね」

「いつも世話になっている近所の人にあげたよ、お前も世話になるかもしれない人達にあげた」

Kさんもようやく事の次第を知ったようで慌てて話を切り替えようとした。

「こんなところに肉屋があるよ、今夜あたり肉料理なんかどうだい」

私はどのようなものであれ肉というものを知らなかった、ご飯のおかずは決まって野菜である、旨いことはうまい、だが何か不足である。

「何か買ってくれるのかい、うちの前で騒いで」店の主人であろう、Kさんに声をかけた。

「どんな肉を売っているのかね、牛かい」

「牛肉は高すぎるよ、うちじゃ豚と鳥だよ」

「なにがおすすめかね」

「肉じゃがなんかどうだい、そうなると豚こまとなるけれど」

「じゃあ、豚小間を二百貫おうか」

「うちじゃ飯のおかずには肉は出たことないね」

私の親もあわてて注文した。

「それじゃ私も買ってみるよ、小間とひき肉二百」

「へえ、木原さんも珍しいね、また人にあげるのかい、たまには子供さんにも食べさせてあげなよ」

店の主人はそんなことを言っていた。Kさんとはその店の前で別れた。

「こっちから帰った方が早いんでね」

大事そうに肉を抱えて足早に帰って行った。

「この肉もどこかの家に貰われていくのかね」

「娘を嫁に出すわけじゃあるまいし、少しは肉を持つてみるかい」

「うん」

紙に包まれた肉の塊はしなっと振じれた。

「じゃあ、安井さんちに寄ろうか、お前と同じ年の女の子がいるよ」

「へえ、そんな子がいるんかい、見かけたことはないよ、美人かね」

「お前と同じ歳ではまだそこまで判らないものだよ、だいたい見かけだけで人を判断するのかい」
「うん」

精神に障がいのある方へ

NPO 法人 希望 地域活動支援センターⅢ型

どんぐり工房

のご紹介

お家から

一歩外へ

出ませんか？

どんぐり工房でゆったりとした時間を過ごしてみませんか…

様々なプログラムを用意しています。
やってみたいことがあれば、ぜひご参加ください。

昼食作り

クッキー・パン等
製造

手工芸品の製作

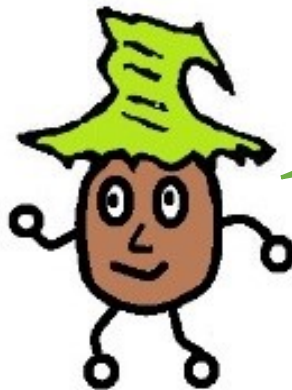
シール貼り

市役所・イベント
販売

おしゃべり

書道

農園作業



これら以外にゲームをしたり（オセロ・トランプ・ジェンガ・ダイヤモンド等）
絵を描いたり何もしないでゆったりと過ごすことも可能です。

見学大歓迎

どんぐり工房の活動時間および定員

開所日 月～金曜日
(土・日・祝祭日お休み)

開所時間 午前9時30分～午後3時

一日の利用定員 15名

皆様の見学を心よりお待ちしております。

アクセス：四街道駅北口 徒歩1分

連絡先：四街道市四街道1-6-11

田中ビル 3F

TEL・FAX：043-421-6645

会員募集

私たち「希望」は、精神に障がいを抱える方々
に対して、保健・福祉の向上を図る事業を行い、
障がい者が地域で自立して生活できるように
支援することを目的として活動しています。

本会の目的にご賛同いただける方・団体は、
どなたでもご入会いただくことができます。

個人正・賛助会員・2,000円/年

団体正会員・・・2,000円/年

団体賛助会員・・・5,000円/1口

詳細はQRコードから
HPをご覧ください。

